

地域・企業を全力で 応援する商工会議所

新政権の経済政策により明るい兆しも見えてくるが、中小企業にとつて依然として厳しい経営環境であることを踏まえて策定された平成二十五年度事業計画が、三月二十六日の議員総会において承認された。「地域・企業を全力で応援する商工会議所」をスローガンに掲げ、五つの柱で以下の諸事業を展開する。

※詳しい事業内容はホームページを参照ください。 <http://www.sapporo-cci.or.jp/h25fjgjo>



新規事業

1 地域の活力向上と東北との連携強化

中小企業を取り巻く当面の課題に対し、委員を中心に調査研究を進め、積極的な提言・要望活動を展開する。また、長年の悲願であった北海道新幹線札幌延伸が決まったことから、平成二十七年の新函館(仮称)開業を睨みつつ、開業効果の最大化を図っていくため、東北との連携強化を図る。

1 建議要望活動の活発化

- 景気対策・中小企業施策等に関する要望活動の展開
- 重要政策課題への対応
 - ・ 中小企業施策
 - ・ エネルギー政策
 - ・ TPP問題

- 雇用・労働法制
 - 社会保障問題
 - 原油価格高騰
 - ほか
- 北海道新幹線・札幌延伸工期短縮(新函館(仮称)開業に向けて)
- 新幹線札幌延伸工期短縮
- 二〇一六年新函館(仮称)開業に向けた新幹線活用推進事業



3月に開催した「札幌都心部と高速道路とのアクセス強化」をテーマとしたフォーラム。今年度は「丘珠空港の機能拡充」などをテーマにフォーラムを実施する

● 新千成空港の国際路線誘致

新函館(仮称)の開業機運の醸成を図るとともに、新たなビジネスチャンス発掘に向けて、調査や開業記念イベントの検討を行う。

● 経済活性化・国土強靱化に向けた社会基盤整備促進

- 北海道新幹線二次交通に関する提言のフォローアップ
- 北海道新幹線札幌開業効果を最大限発揮させるために必要な交通体系の整備促進に向け、地元機運の向上を図る
 - ・ 丘珠空港機能拡充
 - ・ 都心ダイレクトアクセス整備
 - ・ 駅前再整備

2 東北との連携

- 東北との交流活発化
 - 東北応援ツアーの実施
 - ↳ 東北の訪問機会を増やすことにより被災地支援につなげる
 - 東北とのビジネス交流機会の創出
 - ↳ 道内ハイヤーによる被災地訪問団を組織し、現地企業との商談会の開催のほか

か、例年当所で実施している「我が社の商品売り込み市」に東北企業を招待するなど、東北・札幌企業との商談機会創出を図る。

● 被災地復興支援

- 震災復興支援チャリティゴルフ大会
- 義援金付き「うまいもんギフト」通信販売
- 被災地応援物産即売会
- 被災地商工会議所への職員派遣

2 中小企業の経営支援強化

金融円滑化法終了に伴い経営環境の悪化が懸念される中小・小規模企業の身近な相談相手として金融支援を中心とした相談体制を強化するとともに、北海道中小企業再生支援協議会、北海道事業引継ぎ支援センター等の運営により、企業再生・事業承継も注力する。また、起業家層に向けて創業準備段階から創業後のフォローアップまでの一貫した支援体制を構築するとともに、日商簿記検定をはじめとした各種検定試験の運営・実施や、職業訓練受託、各種講座・セミナー等の実施により、次代を担うビジネス人材輩出にも取り組む。

1 中小・小規模企業の経営支援

- 相談体制の充実強化
 - 経営革新等支援機関としての支援体制強化
 - ↳ 国が定める「経営革新等支援機関」に道内会議所で唯一認定されたことを受け、中小企業に対し、より一層専門性の高い支援を行うための体制を整備する
 - 金融円滑化法関連特別相談室の運営と関連情報の提供



昨年11月から開設している金融円滑化法関連特別相談室は4月以降も引き続き開設

● 地域との連携強化

地域連携推進委員会(仮称)の運営と地域振興・活性化推進を果たすことを目指す。

2 創業支援事業の拡充

- 創業支援ステップアップ基金制度(仮称)の検討

● 創業支援ステップアップ基金制度(仮称)の検討

3 ビジネス人材の輩出

- 産業教育の推進・人材確保支援
 - ジョブカード普及推進
 - 建設業界人材マッチング
- インバウンド対応人材育成事業

3 成長分野の育成と業界活性化

「食」(観光)分野においては、地域資源を活用し付加価値の高い地域ブランドの育成を積極的に支援する。また、新エネ省エネ等の環境エネルギー関連ビジネスをはじめ、健康・福祉など今後成長が期待される分野、さらには、ものづくり産業等、各業界における積極的な振興策を講じる。

1 「食」と「観光」の高付加価値化促進

- 地域ブランドの育成
 - 北のブランド認証事業
 - ↳ 会員企業がたわりをもち独自の技術で開発した優れた製品や技術を当所が

認証し、販路拡大を支援する。また、新たな取り組みとして、認証年数によりランク付けした、これまでの認証製品のブランド価値向上を図る。

- 農業への民間企業参入支援
- 北海道「うまいもの祭り」開催
- 地元加工品の地元消費者への認知度

向上のため、市内にてPR物産市を開催する。また、道産ワインの消費拡大に向けて「北海道ワインフェスタ」を展開する。



昨年7月に開催した北海道ワインフェスタの様子

地域資源を活用した新たな観光振興

- 自転車観光事業
「サイクルツーリズム北海道推進連絡会」の員としてサイクリングルート開発や情報提供PRにより新たな北海道観光の楽しさを提案する。
●菓子イベントの開催検討
北海道新鮮果実や当所創立百周年を迎える一〇一六年に、市内中心部で大規模な菓子イベントを開催すべく、関係機関等と連絡調整、企画立案を行う。

国内外来訪者の受入体制整備

- 外国人観光客おもてなし促進研修
中国語や英語の語学研修をはじめ、イスラム圏観光客に対応するためのハラルの説明会等を実施する。
●セカンドホーム 振興事業
第一次ベビーブーム時代に生まれた方々



マスコミへのPR機会を提供する「新製品・新サービス合同記者発表会」

5 組織体制の強化と地域との連携

会員加入運動の推進により組織基盤の強化に努めるとともに、会員優待の各種福利厚生事業や共済事業等の実施により、会員サービスの向上を図るほか、第三十回の円滑なスタートに向けて体制を整備する。また、企業交流会等の実施による会員企業同士の交流促進や、商店街、まちづくり会との連携によるまちづくりの推進、さらには将来を担う子どもたちの社会参画促進に取り組みるとともに、地域社会とも協働し、地域環境問題への対応や地域貢献事業を進める。

1 会員組織基盤の強化

- 会員組織基盤強化
永年会員表彰式



平成25年会員表彰式

特別講演会
第三十五期体制の構築

の過渡期に合わせ、退職後の余暇を夫婦で過ごす「セカンドホーム」の札幌誘致を図るべく、関係機関と連携し、街全体でつなぐ環境整備を行う。

2 新分野育成

- エネルギービジネス、健康ビジネスの育成
スマートハウス/コミュニティの地場企業参入検討
住居、設備機器、自動車、ITなど幅広い業界に裾野の広がるスマートハウスやスマートコミュニティ分野について、今後の地場企業の参入に向け検討する。
●高齢者向け機能性食品、セーフティード 開発支援
北海道の安全・安心で機能性食べやすさに優れた高齢者向け加工食品の開発を支援し、医療機関、福祉施設に対して提案し、ビジネスマッチングを行う。

3 業界活性化促進

- ものづくり産業支援
ものづくり先進地域との取引開始懇談会
●介護・福祉業界における課題解決や適切な情報を共有するよう連携強化を図るとともに、業界が抱える人材不足解決に向けた人材育成に取り組み

2 海外販路拡大支援事業

- アジア販路拡大支援事業
海外の日本食店での「北海道フェア」実施
●香港・シンガポール・バンコクなど展開している飲食店と連携し、飲食店での北海道フェアを実施する。
●イスラム圏への販路拡大市場調査

2 海外販路拡大支援

- ASEAN等におけるイスラム圏の新たな市場としての可能性について調査する
●バイヤー 招聘による商品発掘商談会の実施
●海外取引拡大に向けた情報提供等
●海外経済ミッション派遣(タイミヤマー)
●飲食業の海外進出セミナー
●極東ロシアビジネスの推進
●輸出支援アドバイザーによる貿易相談

4 取引拡大・グローバル化支援

中小企業の販路拡大を積極的に支援(今年2月に東京で開催された「スーパーマーケットトレードショー」)に出展

1 国内販路拡大支援

- 国内販路拡大支援事業
北海道ブランド販路開拓支援事業
道内外でのイベント出店
●ものづくり展示商談会
●北のブランドものづくり部門、「11部門」認証製品のPRと販路拡大に向けて



道外への販路拡大を積極的に支援(今年2月に東京で開催された「スーパーマーケットトレードショー」)に出展

- 北海道一兆円プロジェクト
道内一産業の売上拡大を目指す、道内大手ベンチャー企業の連携により、首都圏からの受注確保に向けた取り組みを行う
●札幌モーターショー「10一四」開催協力

2 会員サポート事業の拡充

- 各種講演会(新春講演会、感動感謝経営塾ほか)
●親睦・交流事業
●会員新春交歓会
●部会・ルネ大会
●さっぽろサマライ倶楽部
●中小企業経営と密接な業種である各種「土」業を対象として、交流会や登録事業者を講師とした企画型セミナー等を実施する。

3 発信力の強化

- 各種媒体を用いた当所PRの促進
●広報誌「さっぽろ経済」の発行
●当所ホームページ、フェイスブックページの運用・管理

3 グローバル人材の育成

- グローバル人材活用事業
●グローバル人材の養成に向け、新たに日本人学生を対象に加え「社会人基礎力研修」「国際ビジネス演習」等の教育事業を行うことにより、「合同企業説明会」を開催

4 地域社会と共に歩む

- 地域活動への積極的な参画・貢献
●札幌ECO宣言行動「10一三」
●さっぽろエコビールの全一運営
●縁結び交流事業
●「小金湯さくら」の森「フクロアツブ

子どもの社会参画促進

- 子どもエコ宣言活動
●夏休み期間中、当所会員企業の協力を得ながら小学生の就業体験の機会を設け、市民によるおもてなし機運の向上、人材育成を目指す
●インターンシップ事業
●夏休み子どもE.O.Sクール



昨年9月に開催された「小金湯さくら」の森「フクロアツブ」研修式 平成27年春開園を予定